

科目名		一般構造				
担当教員		仁多見 透		実務授業の有無	○	
対象学科		建築士学科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択		必修	単位数	1	時間数	16
授業概要、目的、授業の進め方		鉄骨造、鉄筋コンクリート造を中心にその基礎知識を学ぶ。 建築の設計・施工管理における基礎知識を習得することを目的としている。 テキストに沿って授業を進める。建築施工と建築材料と重複する部分が多いので整合性を持てるように指導していく。				
学習目標 (到達目標)		2級建築士の構造科目に含まれる一般構造の基礎知識を習得する。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料		やさしい建築一般構造（学芸出版） 配布資料				
NO.	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	【鉄筋コンクリート構造】 ・コンクリートと鉄筋 ・鉄筋コンクリート造の基礎知識			学習方法：講義形式とする。 準備学習：P105～P118を自宅学習として予習する。 備考：建築施工と建築材料と重複する部分も含め学習する。		
2	・鉄筋コンクリート構造 ・壁式鉄筋コンクリート造			学習方法：講義形式とする。 準備学習：P119～P138を自宅学習として予習する。 備考：建築施工と建築材料と重複する部分も含め学習する。		
3	小テスト			2級建築士試験に準ずる内容で習熟度を確認する。		
4	【鉄骨構造】 ・鋼材 ・鉄骨構造の基礎知識 ・鉄骨構造			学習方法：講義形式とする。 準備学習：P75～P104を自宅学習として予習する。 備考：建築施工と建築材料と重複する部分も含め学習する。		
5	小テスト			2級建築士試験に準ずる内容で習熟度を確認する。		
6	【その他の構造】 ・鉄骨鉄筋コンクリート造 ・補強コンクリートブロック造 ・プレストレストコンクリート造			学習方法：講義形式とする。 準備学習：P139～P148を自宅学習として予習する。 備考：建築施工と建築材料と重複する部分も含め学習する。		
7	【下地と仕上げ】 ・防水 ・各部の下地と仕上げ ・開口部 ・階段 ・和室			学習方法：講義形式とする。 準備学習：P157～P186を自宅学習として予習する。 備考：建築施工と建築材料と重複する部分も含め学習する。		
8	小テスト			2級建築士試験に準ずる内容で習熟度を確認する。		
9						
10						
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
評価テスト	課題					
100 %	%	%	%	一般構造は建築の基礎となる知識である。 基本的なことを身に着け建築士合格を目指すよう頑張ってください。		
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
実務経験教員の経歴		建築施工管理技術者として16年勤務				